



TWEET

「パパの子育ても応援する環境」

私は 10 ヶ月の娘を育てる父親です。父親も我が子は育てたいのです。

産休中のママが子育て 1 年生の進学校なら、パパは定時制の短縮クラス 1 年生。

産休中からパパとママとでは経験・体感できることが質的に全く違い、どう頑張っても替わることが出来ません。子どもへの愛着や責任感が形成されるそれは、ママのとっても大変な部分ではあると分かりつつも、実はパパ、少し寂しい気持ちも持って出産を迎えます。

それでも生まれてきた我が子は十二分に愛おしくて、ママに感謝してもしきれません。

そんなパパは、遅れを取り戻そうと一生懸命頑張りますが、なにぶん進学クラスのレベルにはついていけずに自尊心を損なうことも多いです。

私の職場は家から 30 分、一般企業に比べれば非常に子育てに理解のある職場かもしれません。産休や育休は取りやすく、時短労働もあり、復職するママも多いです。

でもパパの育児には育休もなければ時短もない。少し仕事の負担を減らすという配慮もなく、むしろ増えることすらありそうです。

朝は 8 時に家を出て、サービス残業で帰宅は 7 時半~8 時半。早い時は娘をお風呂に入れられるが、遅いと寝る寸前です。

職場では頑張って効率化を徹底し、それでも残る残業をめぐって上司と微妙な空気になったり、休みの調整では同僚の目を気にして、感じる必要のない負い目を感じるのが現状です。

家に帰ると当然ママは子育て疲れで不機嫌な日もあり、時には職場で「終わらない」、家では「遅い」と板挟み状態になることも。その追い込まれた状況では、やっぱりオムツ替えも着替えもマンマも更に下手くそになるのです。

でも俺も親！という意地がある。そんなパパは多いと思うのです。

だからママさんに 3 つお願いします。

①進学クラスについていけるよう、パパに丁寧な補講をして頂けたら嬉しいのです。

②パパが心理的に戦っている職場と、ママも一緒に戦って下さい。

もしくは、戦わなくていいんだよって安心させて下さい。

③ママにも休みは必要、パパにも休みが必要です。

一緒に子育てして、一緒に休みましょう。ママの嬉しそうに話す日中の我が子の様子を聞くと、パパも嬉しくなって、もっと子育てしたいって思います。

わらパパ

このコーナーはぐるんぱママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！